



セーフィー株式会社

東証グロス 4375



2026年12月期 第2四半期 決算説明資料

August 7, 2026



セーフィー株式会社

映像から 未来をつくる

家から街までをデータ化し、インフラとし、
あらゆる人やモノの意思決定に役に立つ
プラットフォームに

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年12月期第2四半期実績
3. ビジネスアップデート

Appendix.

1. エグゼクティブサマリー

 [セーフィー IR サイト](#)

 [セーフィー早わかり](#)

 [事業計画及び成長可能性に関する事項](#)

FY2026Q2業績

売上高

53.1億円
前年同期比 +18.3%

売上総利益

27.6億円
前年同期比 +22.0%

調整後営業利益^{*1}

0.18億円
先行投資を優先し減益

エグゼクティブサマリー

- 防犯・警備ソリューション活用拡大とあらゆる業界の現場AXを推進
中長期の成長を見据え、新たな成長領域への先行投資を継続
- 決算サマリー（FY2026Q2実績）
 - ✓ 売上高は前年同期比18.3%増、売上総利益は前年同期比22.0%増、
2026年12月期第2四半期は、**調整後営業利益において前年同期比で減益**
 - ✓ スポット収益は14.5億円（前年同期比+8.6%）、リカーリング収益は38.5億円（前年同期比+22.4%）へ
- 中長期的なビジネスアップデート
 - ✓ セーフーセキュリティ株式会社設立から1年半、
防犯・警備ソリューションは市場ニーズに応え、着実に現場へ浸透
 - ✓ 小売・建設・新領域である物流業界にて
IoTデバイスとAIソリューションを活用した現場AXが進行し、着実に成果を創出
- 2026年Q3・通期業績見込
 - ✓ 調整後営業利益は通年及び四半期連続での黒字化を見込む
 - ✓ 一方、2027年度以降の売上・利益成長を見据え、先行投資を計画的に実施し販管費は増加予定
 - ✓ 通期業績予想に変更なし

^{*1} 調整後営業利益＝営業利益＋株式報酬費用＋M&Aにより生じた無形資産の償却費用＋その他一過性費用

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年12月期第 2 四半期実績
3. ビジネスアップデート

Appendix.

2. 2026年12月期第 2 四半期実績

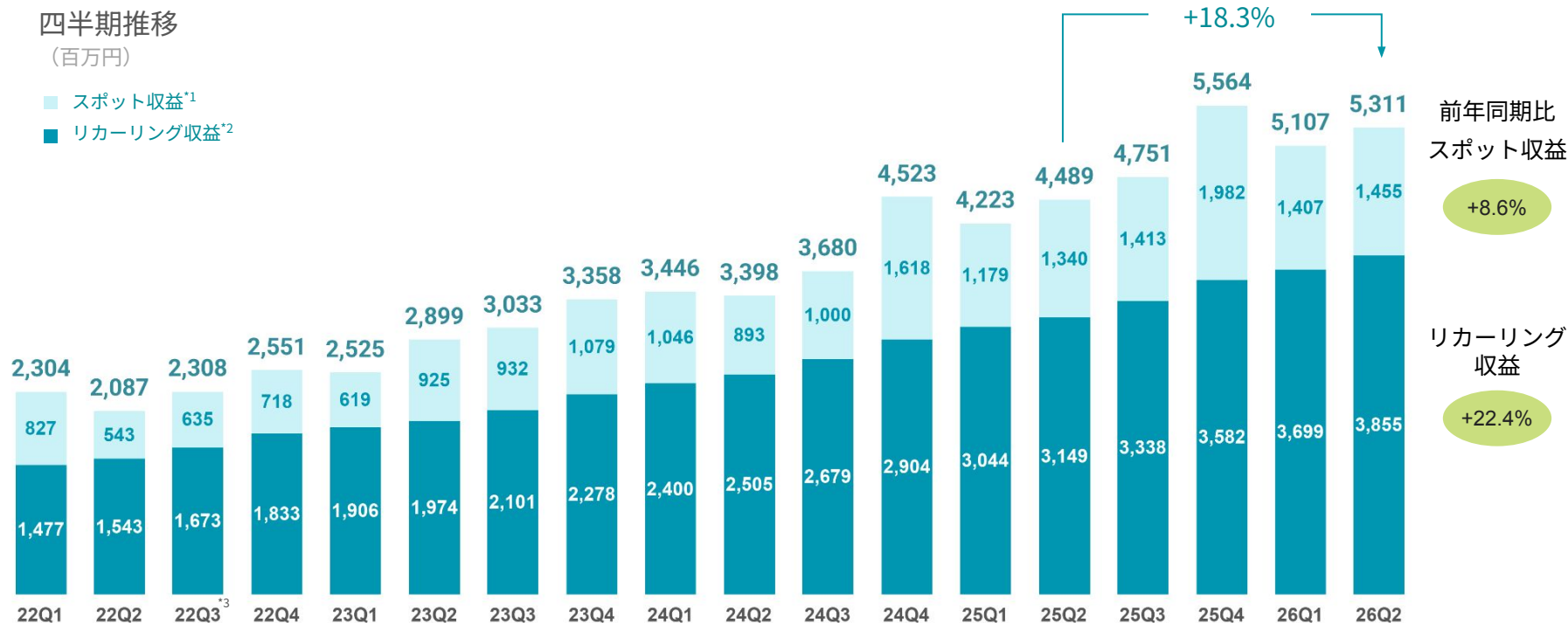
2026年12月期第2四半期は、前年同期比+18.3%の成長
あらゆる業界のエンタープライズ顧客における売上高が寄与し、スポット収益14億円を超え堅調に推移

四半期推移

(百万円)

■ スポット収益^{*1}

■ リカーリング収益^{*2}



^{*1} スポット収益には物販、カメラ設置工事等が含まれる

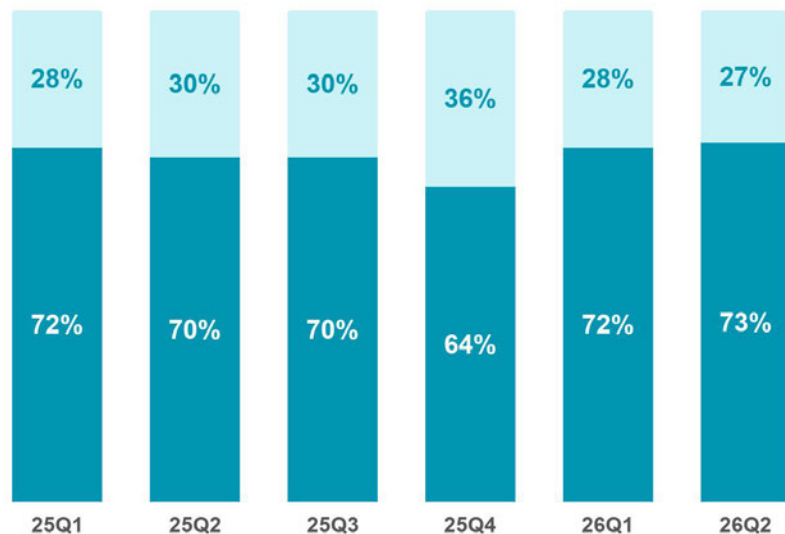
^{*2} リカーリング収益には、クラウド、アプリケーション、レンタル、SIM等が含まれる

^{*3} FY2022Q3より連結決算へ移行

為替変動と機能拡張に伴う原価増の影響でクラウド粗利率が低下し、リカーリング粗利率は微減

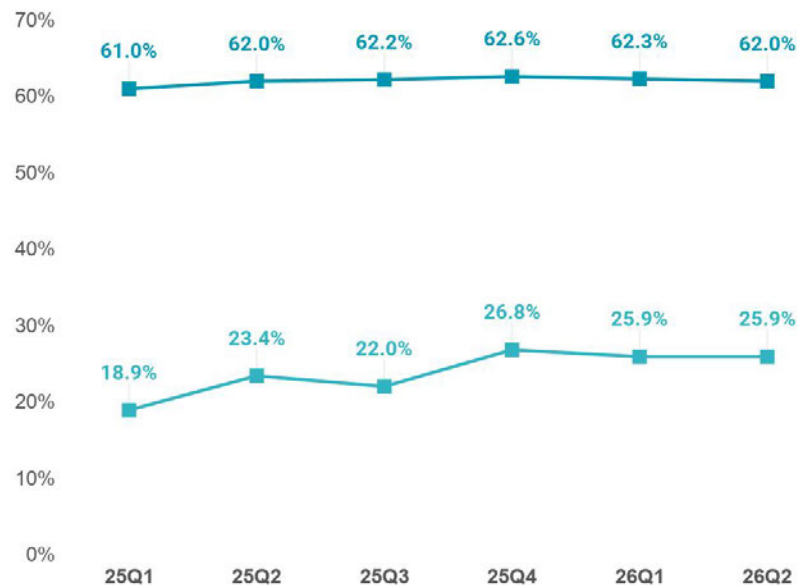
売上高構成比（四半期）

- スポット収益^{*1}
- リカーリング収益^{*2}



粗利率の推移

- スポット粗利率
- リカーリング粗利率



^{*1} スポット収益には物販、カメラ設置工事等が含まれる

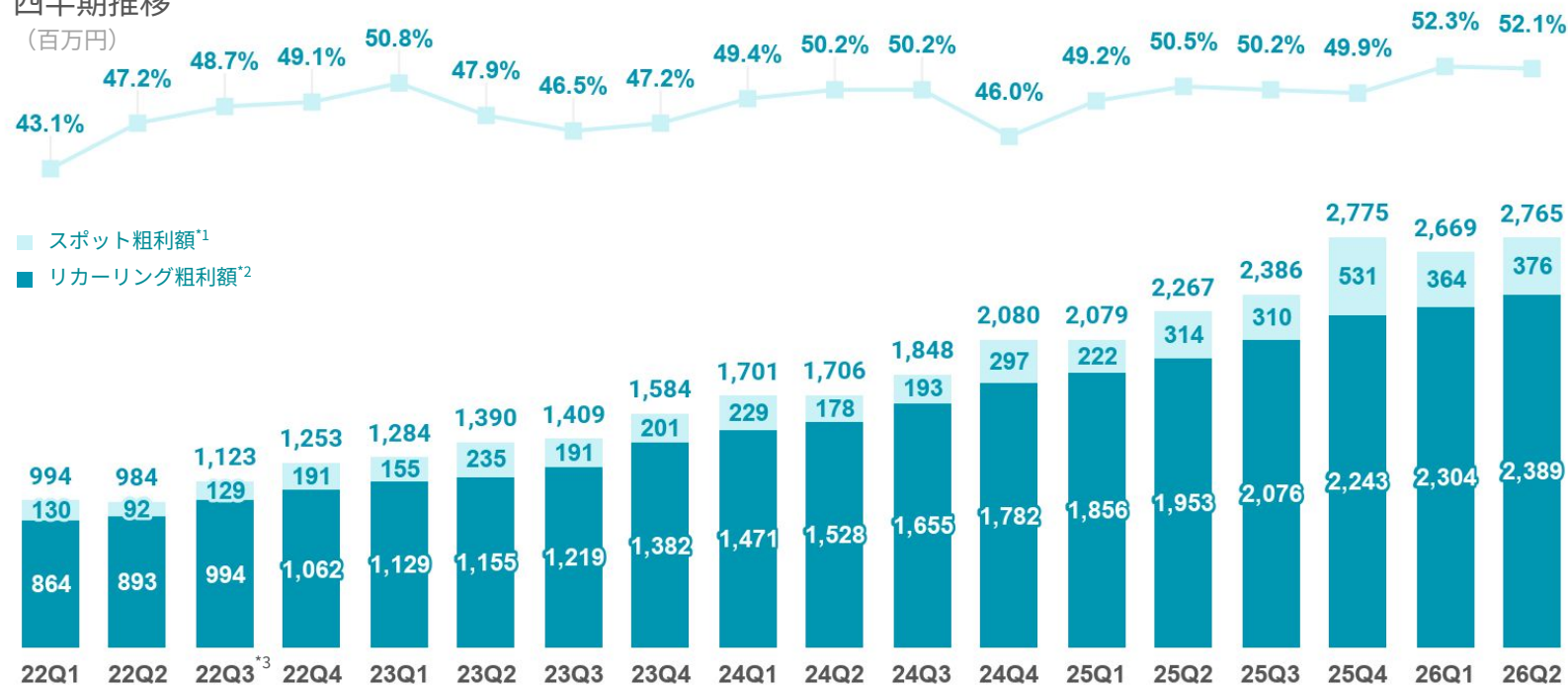
^{*2} リカーリング収益には、クラウド、アプリケーション、レンタル、SIM等が含まれる

売上総利益全体は前年同期比で22.0%成長

リカーリング収益の構成比上昇と高付加価値ソリューションの寄与で、売上総利益率は52.1%と堅調に推移

四半期推移

(百万円)



前年同期比

+22.0%

*1 スポット収益には物販、カメラ設置工事等が含まれる

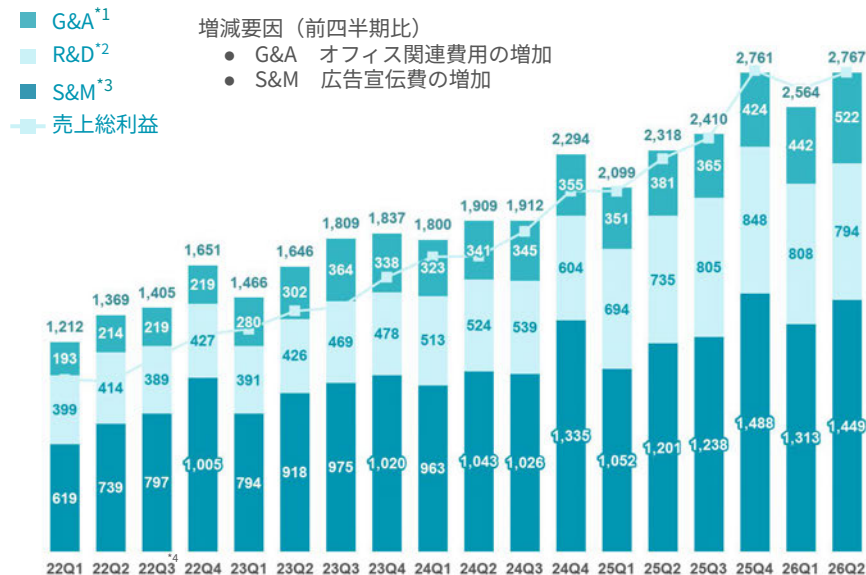
*2 リカーリング収益には、クラウド、アプリケーション、レンタル、SIM等が含まれる

*3 FY2022Q3より連結決算へ移行

2026年12月期第2四半期は人材投資に伴う人件費・オフィス関連費用増で、S&MとG&Aの売上高比率が増加

四半期推移

(百万円)



売上高比率

(%)



*1 G&Aとは、General and Administrative。管理部門の人件費やそのほか関連経費及び共通費等の合計

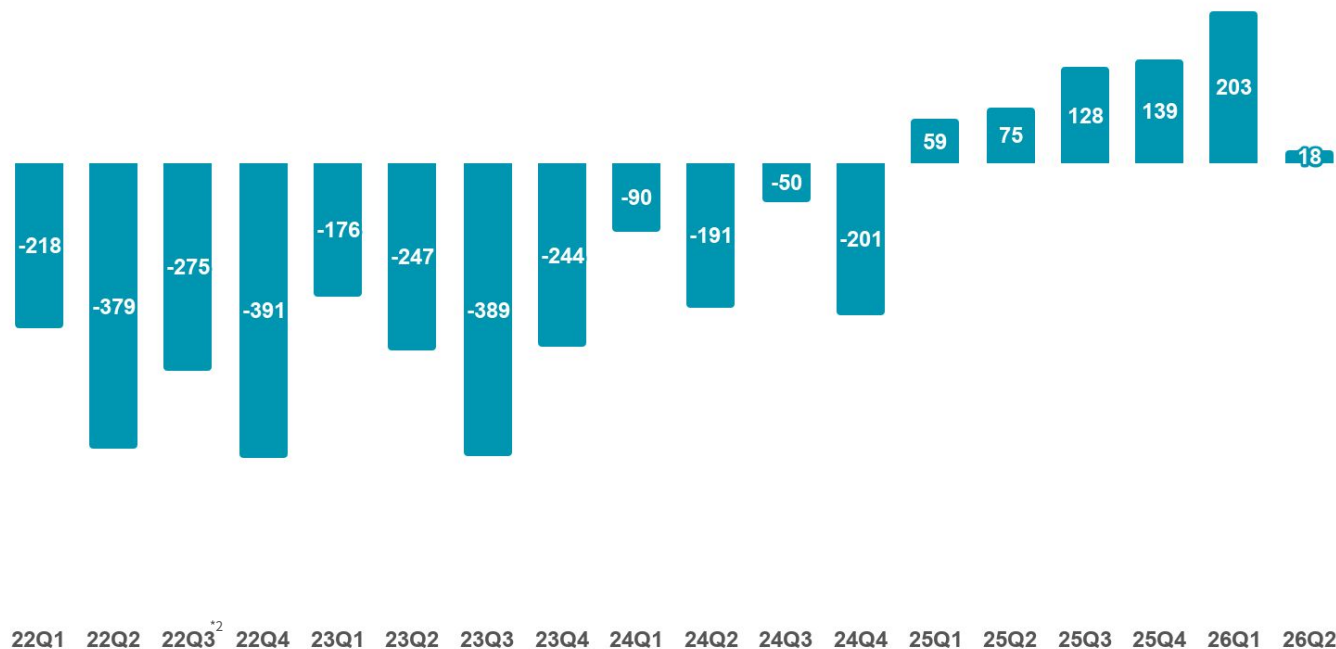
*2 R&Dとは、Research and Development。研究開発にかかるエンジニア人件費、外注費用、そのほか関連経費及び共通費等の合計

*3 S&Mとは、Sales and Marketing。販売促進費、広告宣伝費、セールス関連人件費、そのほか関連経費及び共通費等の合計

*4 FY2022Q3より連結決算へ移行

事業成長を加速させるための先行投資を続けており、2026年12月期第2四半期の調整後営業利益は18百万円

四半期推移
(百万円)



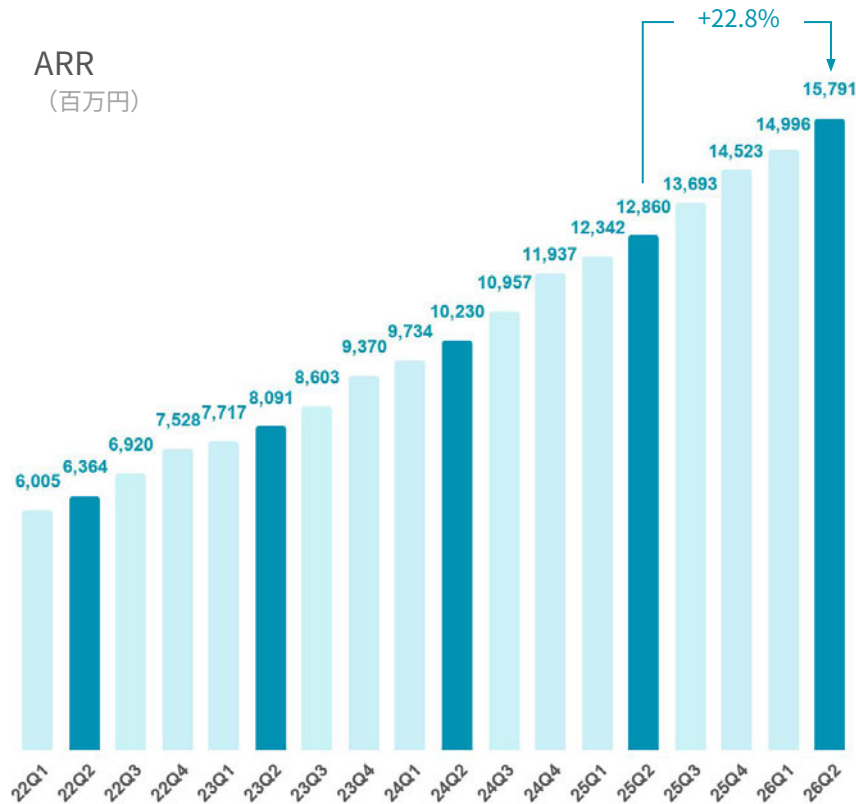
*1 調整後営業利益＝営業利益＋株式報酬費用＋M&Aにより生じた無形資産の償却費用＋その他一過性費用

*2 FY2022Q3より連結決算へ移行

ARRは前年同期比で22.8%成長し157億円、課金カメラ台数は38.5万台に到達

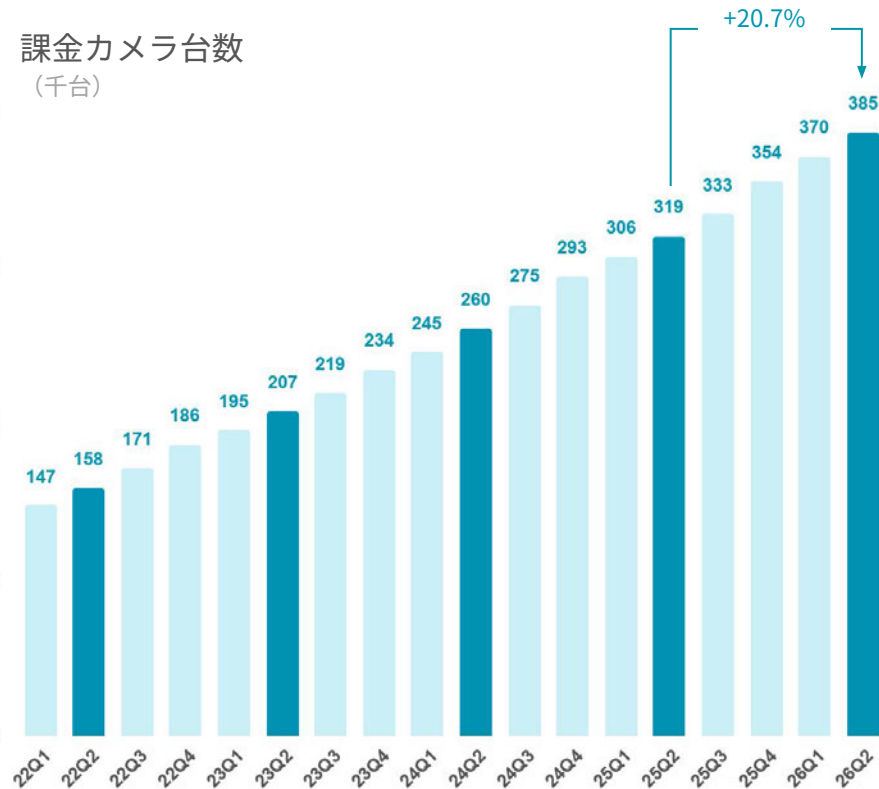
ARR

(百万円)



課金カメラ台数

(千台)

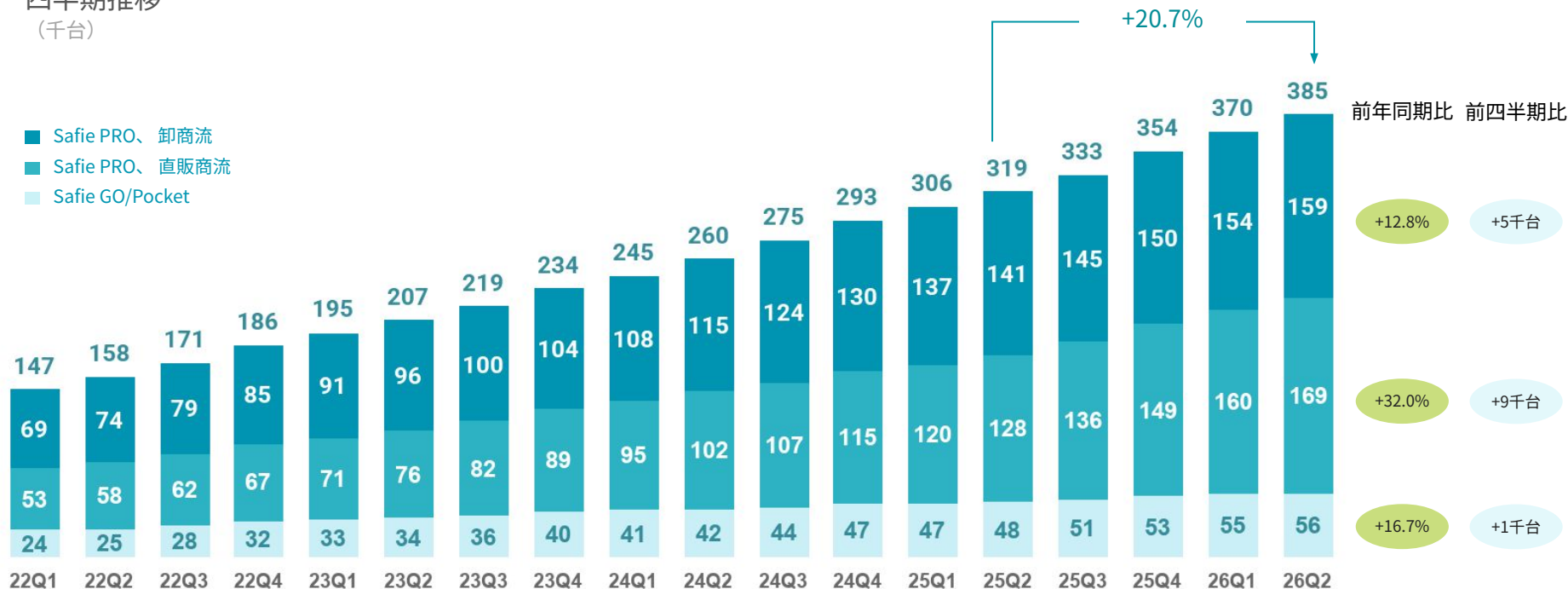


Safie PRO直販は、エンタープライズ顧客の導入拡大を背景に前年同期比+32.0%と伸長し、成長を牽引

四半期推移

(千台)

- Safie PRO、卸商流
- Safie PRO、直販商流
- Safie GO/Pocket

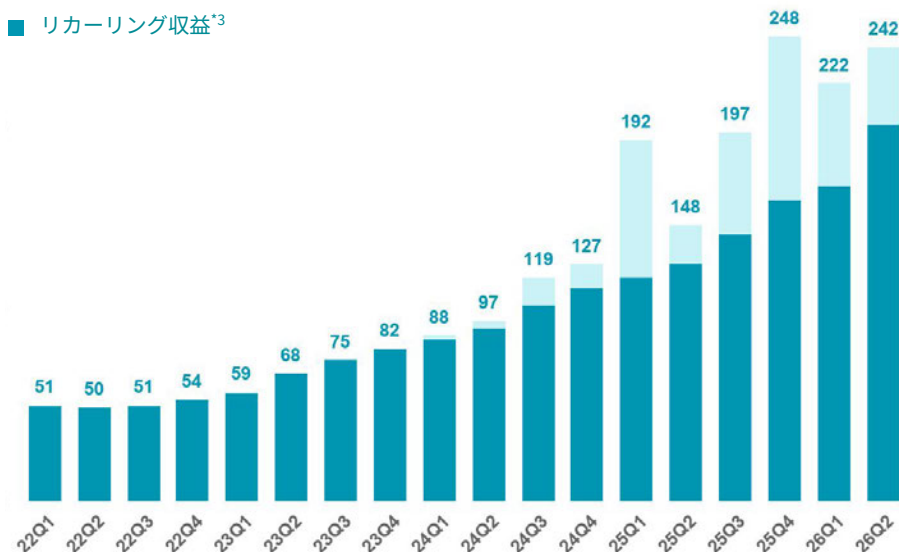


映像×AIソリューションが小売・フィットネス・建設現場へと広がり、現場AXを推進

ソリューション売上高推移

(百万円)

- スポット収益^{*2}
- リカーリング収益^{*3}



FY2026Q2実績



小売・サービス業でAIソリューションの導入が拡大
カメラ映像とAIによる**レジ前混雑状況の可視化**や
万引き防止対策などの店舗運営管理を遂行



遠隔接客サービス「**RURA**」の導入が拡大
大手フィットネスクラブでは**50店舗以上**に導入され
店舗運営の省人化にも貢献



過去に盗難事件が複数発生していた建設現場では
深夜の警備・見守りを目的とし**AIカメラ**を活用。
映像×AIにより**不法侵入を未然に防止**

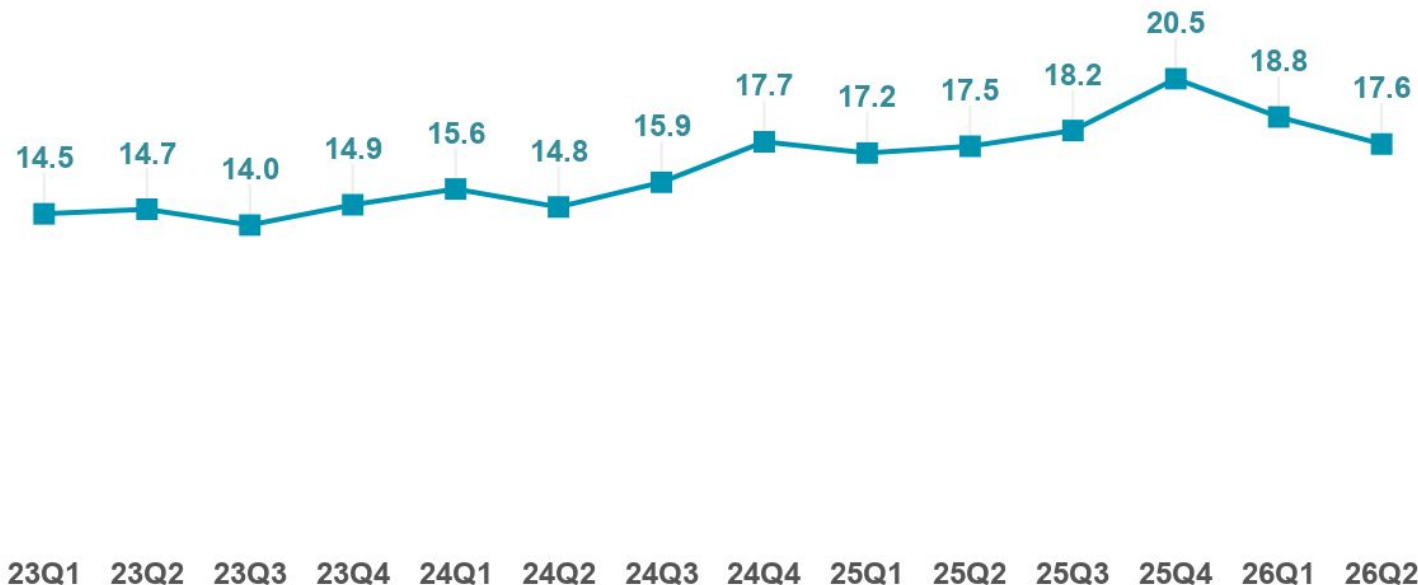
^{*1} AI-App等のアプリケーション、映像機能を拡張する各種オプション、及び映像活用サービス等の売上合計。リカーリング収益及びスポット収益どちらも含む

^{*2} スポット収益には物販、カメラ設置工事等が含まれる

^{*3} リカーリング収益には、クラウド、アプリケーション、レンタル、SIM等が含まれる

エンタープライズ領域の開拓に向けて人材採用を強化した結果、一人あたり粗利額は前四半期比で低下

社員一人あたり粗利額
(百万円)

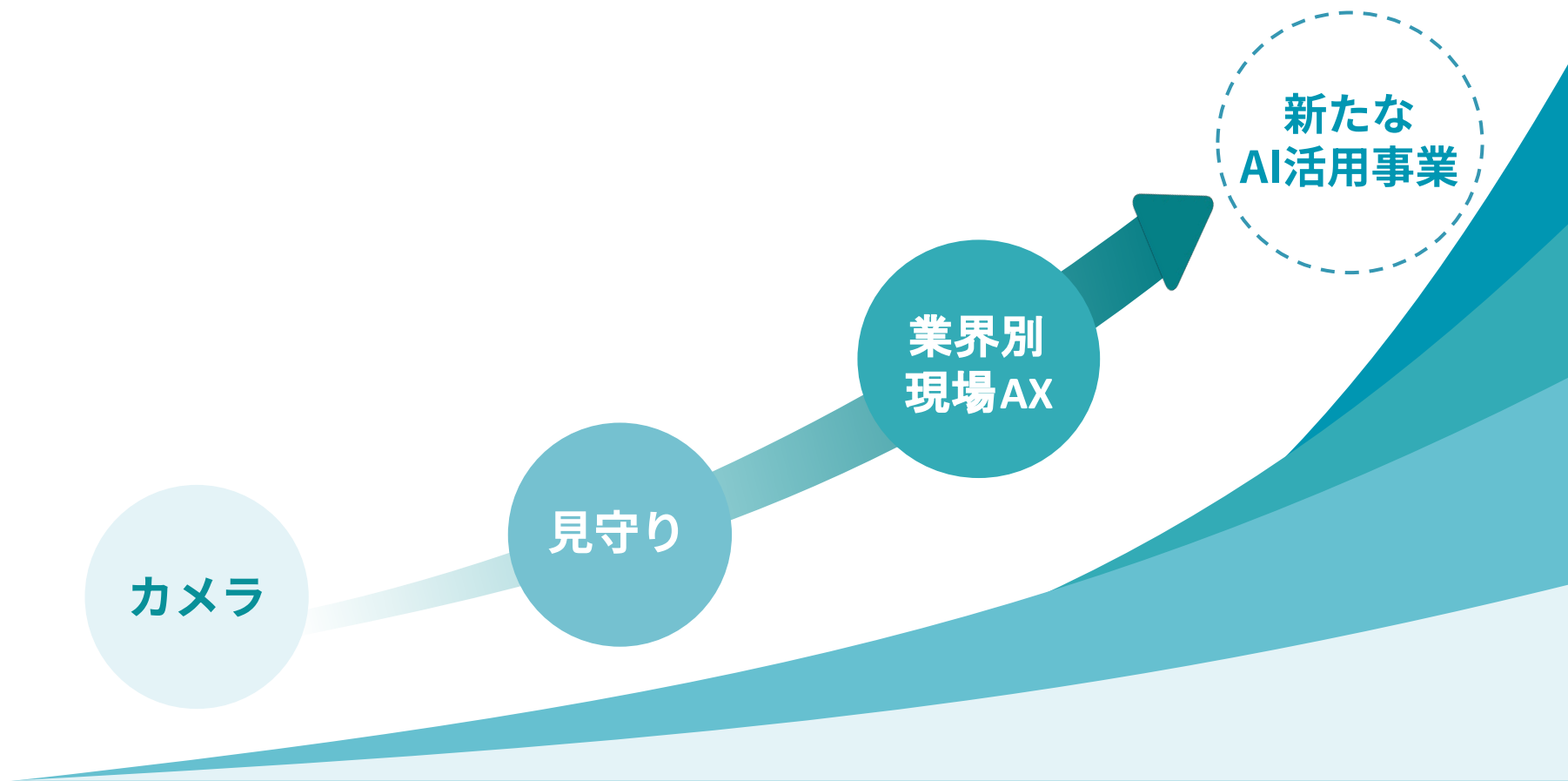


*1 (各四半期粗利額×4) ÷ 各四半期平均社員数

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年12月期第2四半期実績
3. ビジネスアップデート

Appendix.

3. ビジネスアップデート



クラウドカメラの需要が拡大

- クラウドカメラ市場では引き続きシェアNo.1を獲得
- 「Safie Trail Station」を軸に既設カメラをクラウド化して、市場拡大

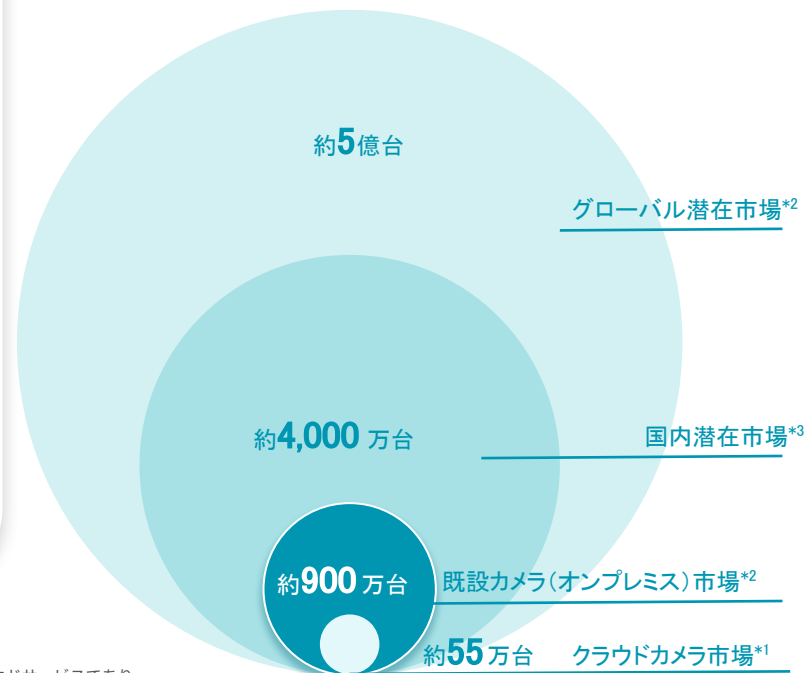
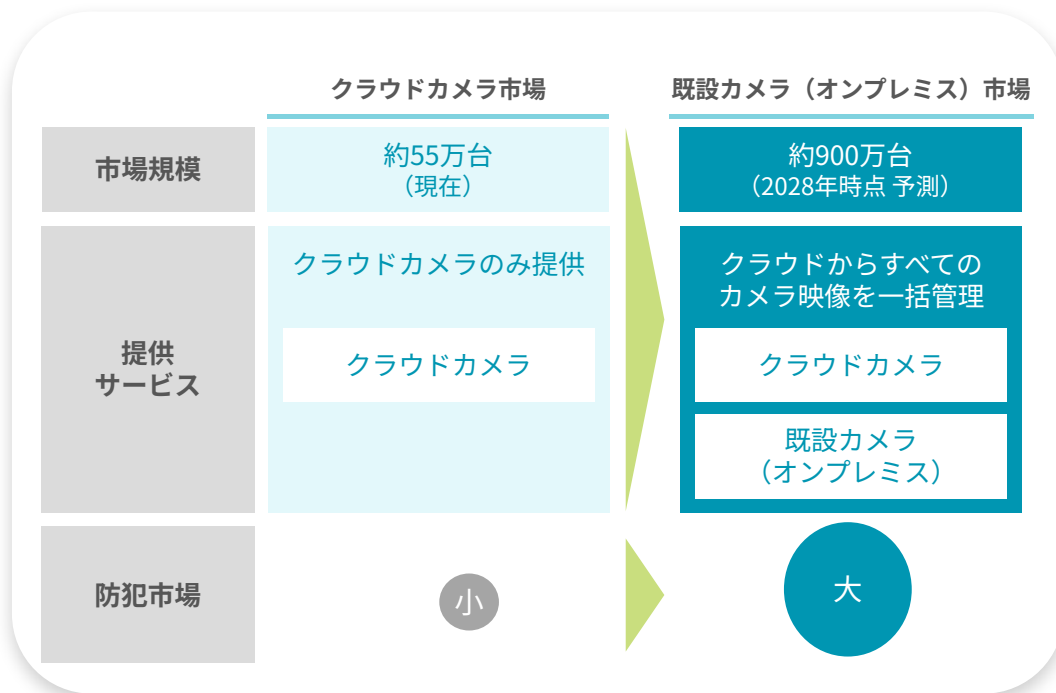


カメラ

見守り

業界別
現場AX

900万台の既設カメラ（オンプレミス）市場にて事業拡大を実施



*1 弊社市場シェアから算出。クラウドカメラ市場とはクラウドモニタリング・録画サービス市場を指し、ネットワークカメラを利用したクラウドサービスでありモニタリングもしくは録画サービス機能を提供している有料サービス

*2 矢野経済研究所「2020年度版 監視カメラ市場予測と次世代戦略」記載の国内もしくは世界監視カメラ市場における出荷台数を基に、一定の仮定を置いて算出した当社試算値

*3 一定の仮定を置いて算出した当社試算値

見守り

- **安心・安全**という基本ニーズと、現場で増え続ける**事故・事件への対応**を背景にカメラ・ソリューションの提供領域を**見守り分野へと拡大**



The diagram illustrates the expansion of Safie's business strategy. It features three circles connected by a thick, upward-sloping arrow. The first circle on the left is light gray and labeled 'カメラ' (Camera). The second circle in the middle is teal and labeled '見守り' (Monitoring). The third circle on the right is a darker teal and labeled '業界別現場AX' (Industry-specific On-site AX). The background consists of several overlapping, upward-sloping teal and gray shapes, suggesting growth and expansion.

カメラ

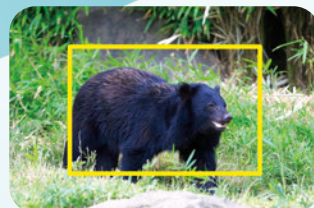
業界別
現場AX



セーフィーセキュリティ株式会社

～みまもり、よりそい、確かな安心をつくる～

- 不審者をAIで検知
- 遠隔から声かけを実施



セーフィー
セキュリティ
設立

2025年1月

セントラル
警備保障と
資本業務提携

2025年11月

建設現場向け
Safie GO PTZ
見守りプラス
ベータ版
提供開始

2026年2月

太陽光発電所向け
Safie Security
Field Scope
提供開始

2026年4月

クマ検知AI &
みまもり
目視サービス
提供開始

2026年7月

見守り・警備
サービスの
本格提供開始

今後の予定

防犯・警備市場が拡大する一方、深刻な労働力不足が続く
店舗の省人化・無人化や建設現場・太陽光発電所でも、安全対策に有効な解決策がない状態が続く

市場は拡大する一方、労働力不足は解消されず

警備業界の市場規模^{*1}



警備員（保安職業従事者）の有効求人倍率比較^{*2}



*1 東京商工リサーチ「2024年『警備業』倒産・業績動向調査」（全国の主な警備会社828社を集計）

*2 厚生労働省 一般職業紹介状況（2025年）

現場での省人/無人化に伴うリスクは拡大

店舗運営は省人/無人化が進む一方
利用者や従業員の安全担保や窃盗対策が課題に



無人フィットネスジム



宿泊施設

工期遅延や機会損失など屋外環境の
特殊性の高いリスクに対し、有効な解決策がない



建設現場

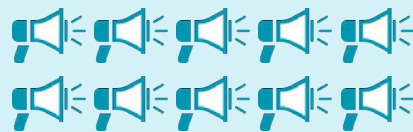


太陽光発電所

設立後、AIカメラによる防犯・警備ソリューションの実証機会を拡大し、着実に効果・実績を創出



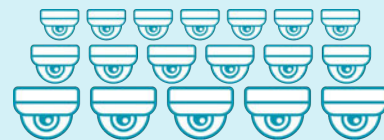
声かけで不法侵入を
未然に防止した件数^{*1}



累計 **10** 件

未然防止率^{*2} 100%

Safie GO PTZ
見守りプラス
稼働カメラ台数



累計 **50** 台

着実に稼働台数が拡大中

^{*1} 実証実験として実施している件数

^{*2} 当社実績に基づく

建設業界の既存顧客にAIカメラを追加導入し、現場での不法侵入を実際に未然防止

導入事例

AIカメラ導入により現場の不法侵入を未然防止

safie GO PTZ



※弊社社員の実演になります。

Before

過去に盗難被害があったが、夜間・休日は無人となり、侵入者への”その場での対処”ができなかった

導入

人物をAIで検知するPTZカメラとスピーカーを導入、遠隔から現場に向けて声かけを行える体制を構築

After

導入後まもなく侵入前の不審行動を検知・声かけで退去させ、”未然防止”を実現

SaaS：業界ごとの現場AXソリューション

- トッププレイヤー顧客攻略のために作り上げた**業界別の現場AXソリューション**を展開
- 小売・建設・物流業界において各業界のデファクト・スタンダードとしての地位を確立

カメラ

見守り

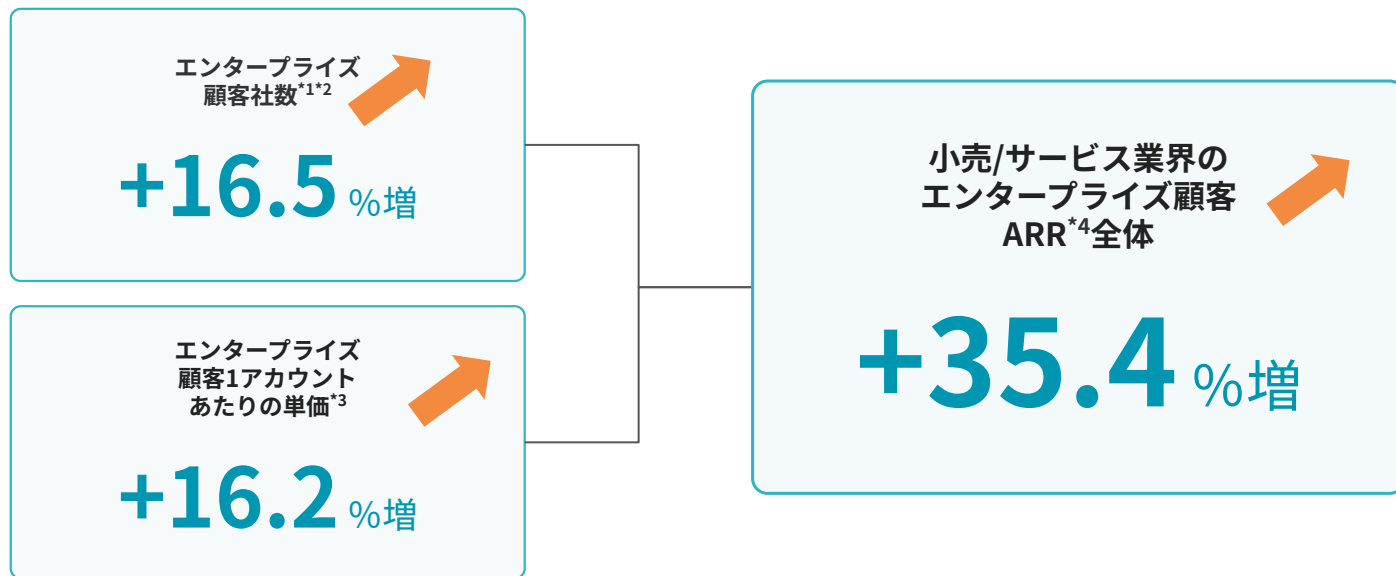
業界別
現場AX

小売/サービス業界の 事業進捗



エンタープライズ領域を中心に好調に進捗

顧客社数・単価の両方が伸長し、ARRは高成長フェーズ



*1 エンタープライズ：年商500億円以上または従業員数1,000名以上の企業におけるサービス契約アカウント発行数が対象

*2 2026年6月末時点ARRの前年同期比成長率

*3 ARPAはAverage Revenue per Accountの略。当四半期末のARRを、当四半期末の顧客アカウント数で除して算出

*4 本スライドに記載の顧客社数、顧客1アカウントあたりの単価、ARRの数値は小売/サービス業界におけるエンタープライズ領域の数値

	小規模店舗	中規模店舗	大規模店舗
業 態	飲食店 調剤薬局 フィットネス 美容・理容チェーン	スーパー コンビニ アパレル ドラッグストア	ディスカウントストア ホームセンター
台 数	1～8台	9～32台	32台以上
用 途	防犯・遠隔管理の他 「Safie AI Studio」により ソリューション活用が手軽に	顧客の業務生産性・売上向上を目的とした活用へ セキュリティ対策 レジ待ち対策 マーケティング 防犯/警備 遠隔接客 販売促進	
顧客あたり 売上高	ソリューション＋ 「Safie AI Studio」 クラウド録画 Safie One、Safie UNICAM	ソリューション＋「Safie AI Studio」 クラウド録画 ＋ 「Safie Trail Station」	

既設カメラのクラウド化を含むカメラの多台数設置 × 映像 × AIで省人化を実現、顧客あたり売上高を向上

多台数設置 × ソリューション



1

セキュリティ対策

- 万引き常習犯の再来店を自動検知

2

遠隔で防犯 / 警備

- 店舗の危機管理を遠隔化

3

レジ待ち対策

- 混雑緩和による顧客体験改善

4

遠隔接客

- 専門スタッフ不足解消
- インバウンド対応

5

マーケティング

- 来店者数カウント
- ターゲット顧客の行動分析

6

販売促進

- 棚割りや商品補充タイミングの最適化

7

コミュニケーション支援

- 業務を遠隔からインカムで指示

8

POSジャーナルデータとの連携

- 会計操作を起点に事実確認を容易に



映像を起点に複数店舗の状況を可視化し、業務改善と運営効率化を実現

店舗運営における活用用途

遠隔から在庫・売れ行き確認

本部や基幹店舗が周辺店舗の状況を映像で遠隔確認し
供給量を最適化する動きが加速

複数店舗の一括状況把握

売上POSデータだけでは見えない現場状況を映像で把握し
本部の業務負担を大幅に軽減

AIソリューションによる改善

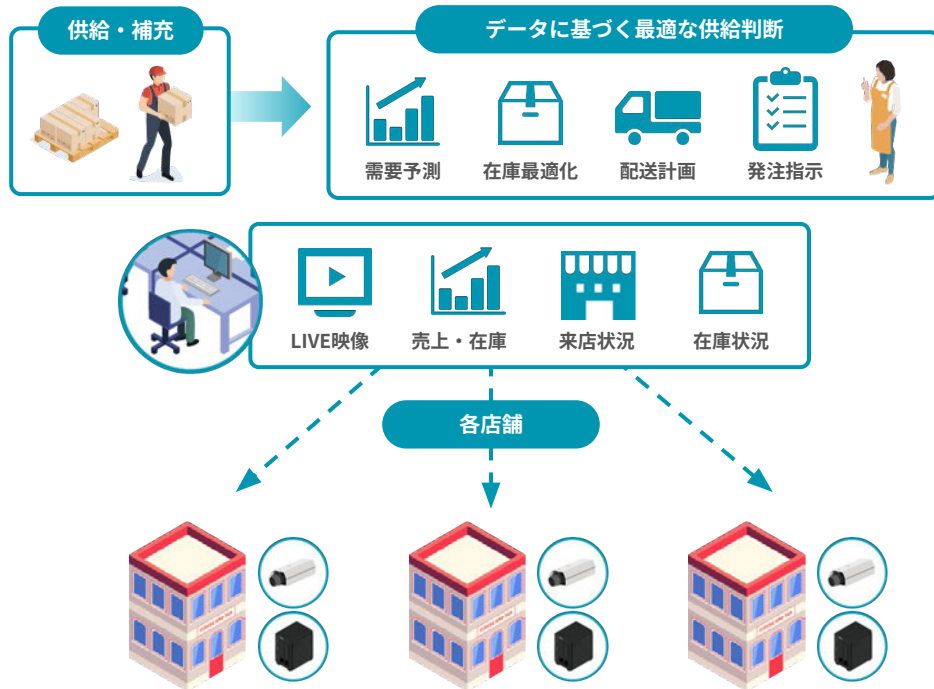
レジの混雑緩和や入店者数のAI計測など
店舗オペレーション改善に直結する技術が普及



導入実績



今後、期待される活用の広がり



小売/サービス業界：既存カメラ顧客に遠隔接客・音声ソリューションを展開



小売/サービス

労働力不足を背景に、既存カメラ顧客へRURAやBONXのクロスセルが拡大
映像・音声・遠隔接客の組み合わせで、店舗の遠隔オペレーション実現

店舗（現場）

 RURA

safie

クラウドプラットフォーム

コンタクトセンター
（遠隔拠点）

 safie

RURAで画面越し（オンライン）の接客

セーフティーのカメラでリアルタイムに状況を確認

インカムBONXで
即時性のあるやり取り



 BONX

即時性のあるコミュニケーション
現場スタッフとセンターの連携

カメラ・RURA・BONXを組み合わせた提案により
セーフティーグループ独自の価値提供が可能に

導入事例

映像×音声の遠隔接客で
1人3店舗運営を実現

 CONEXIO

- 店舗入口のフロアマネージャーの配置が困難な中、クラウドカメラ「Safie」、遠隔接客サービス「RURA」、クラウドインカム「BONX」をセットで活用することで、遠隔オペレーターが代替
- フロアマネージャー業務をコンタクトセンターに集約し、従来1人1店舗だった管理を1人3店舗まで拡大
- 店舗の省人化と受付スタッフの営業活動専念による売上機会を創出

想定ユースケース



通信キャリアショップ



フィットネス



銀行

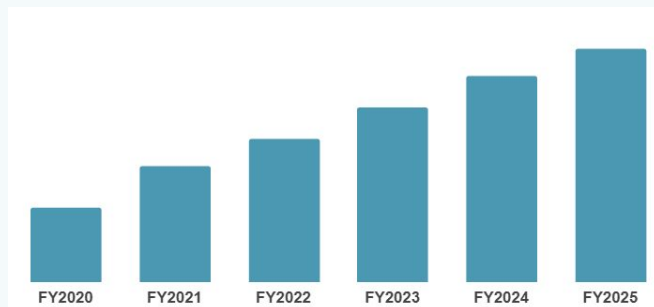
建設業界の事業進捗



主要な建設領域を中心に深く・広く推進 顧客深耕と市場浸透により、収益基盤が継続的に拡大

大手総合建設会社5社の年間ARR推移^{*1}

5年間で約**3.1倍**に成長



業界売上高TOP50社^{*2}のうち

49 社で活用実績あり

(2025年の実績)



^{*1} FY2020を100として指数化 (FY2020～FY2025)

^{*2} 建設通信新聞「建設業 完成工事高ランキング2025年」

多台数のカメラ設置と複数ソリューションにより、利便性の高い建設業界の現場AXを実現



多台数設置 × ソリューション

1



工事進捗の把握

- 多台数のカメラを活用し進捗確認

2



遠隔臨場 / 検査

- 管理コストの削減

3



遠隔で防犯 / 警備

- 資材盗難防止

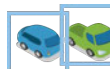
4



不安全行動の自動検知

- 危険エリアへの侵入抑止

5



交通量調査

- 映像×AIで人手をかけず自動計測

6



コミュニケーション支援

- トラブルをセンサーで検知しインカムと「窓」で即時指示

7



高速道路の維持管理

- 映像にキロポスト表示で位置情報を即座に把握

8



工事車両の入退場を自動記録

- AIカメラを活用し車番を認識



建設現場の移動負担や技術伝承の課題を背景に、テレプレゼンスシステム「窓」の導入が拡大



IMU S VI

移動時間・
移動コストの
削減

意思決定
スピードの
向上

若手育成・
技術継承の
質の向上



導入事例

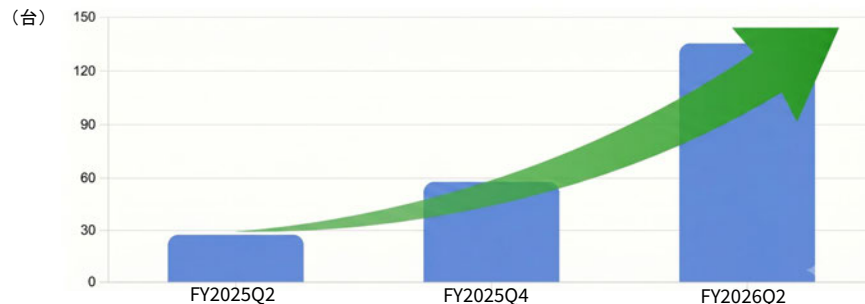
「窓」を導入し移動時間ゼロで
"現場の熱量"を感じる
コミュニケーションを実現

SHIMIZU CORPORATION
清水建設

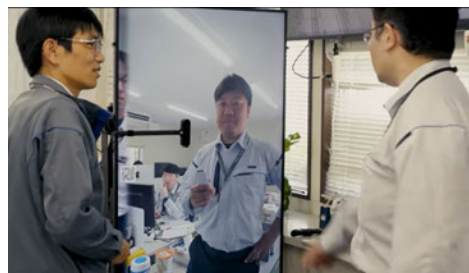
- 事務所・詰所間の距離による意思疎通不足と移動負担を解消するため導入
- ラグのない映像・音声で、表情や雰囲気を含め"隣で会話しているような"やり取りが可能になり、往復約1時間の移動コストを削減

導入実績*1

1年間で約4倍に成長



*1 セーフイー直販・建設パートナー商流における課金台数



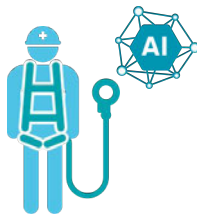


現場の死亡災害が高水準である中、シンガポール発の映像AI解析企業「Ailytics」との連携により
映像×AIで不安全行動を自動検知



労働災害削減に向けた安全管理AXが加速

- 建設業では死亡災害が依然高水準で推移
- 死亡災害を削減すべく、DXやAI活用の期待が高まる



導入事例

常時監視していなくとも 危険行動を的確に検知



大林組

- 人の目だけでは限界がある安全巡視業務の負担を解消するため、Ailytics搭載の「Safie GO PTZ」を設置、**不安全行動検知**の実証を実施
- 現場監督が常時監視していなくとも不安全行動を検知し安全管理を補完。
検知映像は協力会社を含む関係者への**安全教育**にも活用

導入予定案件

ゼネコン



戸田建設

ゼネコン



岩田地崎建設

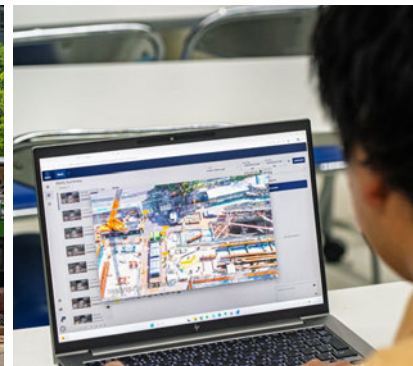
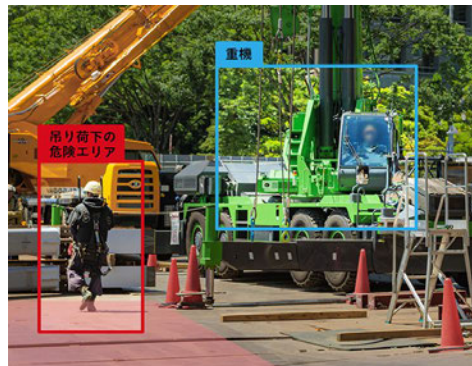
インフラ



現場で使える
AI活用パッケージ
として導入

データとAIで
安全管理を
統合的に実現

線路内の
立ち入りを
防ぎたい



映像×音声×AIの事業との連携を通じ、より高度な遠隔施工管理を実現



セーフィーのカメラとAIを起点に、BONXや「窓」による現場間のスムーズなコミュニケーションを実現
異常をいち早く"捉え"、必要な相手へ"届ける"機能を拡充し、現場監督の"能力拡張"を実現

新領域・物流業界の 事業進捗



新領域の物流業界も着実に成果を拡大 大手企業への導入を足がかりに、次なる事業の柱へ

業界トップ企業の攻略
主要物流企業へ導入

 Sg logistics



 KWE



KONOIKE
GROUP



モノタロウ

株式
会社

コベルコロジスティクス

セーフリーの物流業界顧客の
期末ARR 平均成長率^{*1} (CAGR)

+35.7%

^{*1} FY2022期末ARRを基準に、FY2025期末ARRまでのCAGRを算出

既設カメラのクラウド化を含むカメラの多台数活用 × 映像 × AIで物流現場のAXを実現



多台数活用 × ソリューション

1

遠隔で防犯/警備

- 施設の危機管理を遠隔化



2

バース管理

- 車両の入退場を管理



3

設備導入・保全

- 試運転設備の不具合チェック



4

出荷検品・梱包

- WMS内のデータを使いモノの流れを記録



5

自動点呼/遠隔点呼

- ドライバーの点呼業務を効率化



6

BCP対策

- 災害・事故時に現場状況を遠隔で把握



7

安全管理・労働災害防止

- 重機の近接等を検知事故や異常を把握





物流効率化法への対応を背景に、現場ではカメラ映像とAIによる車両ナンバー自動認識を導入し入退場記録の自動化を目指す動きが拡大

市場動向

労働力不足と法対応が重なる現場で遠隔管理が加速

- 残業規制とEC需要拡大が同時進行しトラックドライバーの生産性向上が急務
有効求人倍率は高水準で推移^{*1}
- 荷待ち・荷役時間の可視化と効率化は必須

モノタロウ様における課金カメラ台数導入実績

物流全拠点への導入台数は
現在約1,000台。
2020年比で約2.6倍に拡大



モノタロウ様における活用の展開

法規制対応と
車両入退場管理の効率化を
カメラとAIで実現



※画像はイメージです

- 笠間ディストリビューションセンターでは、取扱車両数の増加に伴い、車両の入退場時刻の約3割が正確に把握しきれておらず、受付時間の削減とバース稼働の効率化が課題として挙がっていた
- セーフイーのカメラとAIによる車両ナンバー自動認識とバース管理システムの連携で、法規制対応とバース管理の自動化を進行中

^{*1} 厚生労働省「一般職業紹介状況（職業安定業務統計）」より算出。自動車運転の職業には、トラック・バス・タクシーの運転者を含む



映像データにAI・システム連携を組み合わせることで提供価値は拡大し
顧客ニーズを満たすソリューションは今後も継続的に増加していく

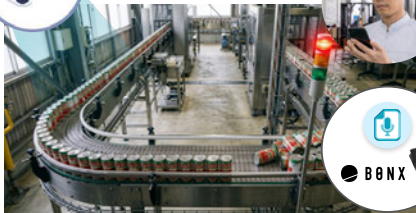
3

設備導入・保全

試運転設備の
不具合チェック



積層信号灯の異常をカメラとAIで検知し
音声・映像で現場ヘリアルタイム通知。
人手による巡回によらず
異常の見逃し防止と迅速な復旧を実現



4

出荷検品・梱包

WMS内のデータを使い
モノの流れを記録



商品発送後の問い合わせ対応で
エビデンス探しに時間を要していた中で
作業記録映像をワンクリックで
ピンポイント確認できる仕組みを構築



7

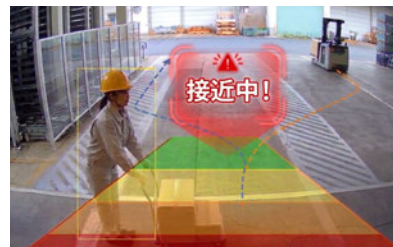
安全管理・労働災害防止

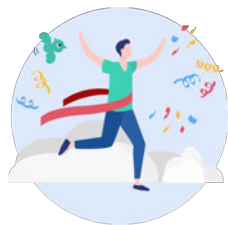
重機の近接等を検知
事故や異常を把握



×  Hutzper

倉庫内カメラとAIでフォークリフトと
作業員の動線を可視化。
接近や危険行動を検知して
事故を未然に防止





2026年12月期第2四半期実績

- 売上高は53.1億円、売上総利益は27.6億円で着地し
2026年通期業績目標達成に向け、第2四半期は順調に推移
- 中長期の成長を見据え、成長領域への先行投資を継続し
調整後営業利益は18百万円と前四半期比で減益
- 2026年通期業績見通しに変更なし



防犯・警備ソリューション活用拡大と あらゆる業界の現場AXを推進

- セーフイーセキュリティ株式会社設立から1年半、
防犯・警備ソリューションは市場ニーズに応え、
現場へ着実に浸透
- 小売・建設・新領域である物流業界にて
IoTデバイスとAIソリューションを活用した現場AXが進行し
着実に成果を創出

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年12月期第2四半期実績
3. ビジネスアップデート

Appendix.

Appendix.

会社概要

設立年月

2014年10月

従業員数（2026年7月）^{*1}

644人

年間売上高（FY2025）

19,029百万円

ARR（2026年6月末）^{*2}

15,791百万円

課金カメラ台数（2026年6月末）^{*3}

38.5万台

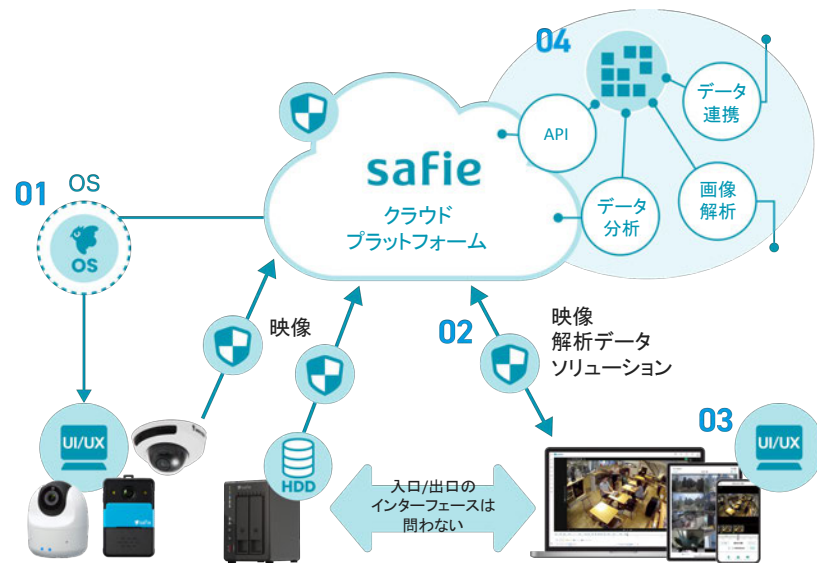
^{*1} 各月初の人数

^{*2} ARRはAnnual Recurring Revenue。各四半期末時点のMRR（Monthly Recurring Revenue）を12倍して算出。

MRRは対象月末時点における継続課金となる契約に基づく当月分の料金の合計額（販売代理店経由の売上を含む）

^{*3} 各四半期に販売したカメラ台数ではなく、各四半期末時点で稼働・課金しているカメラ台数

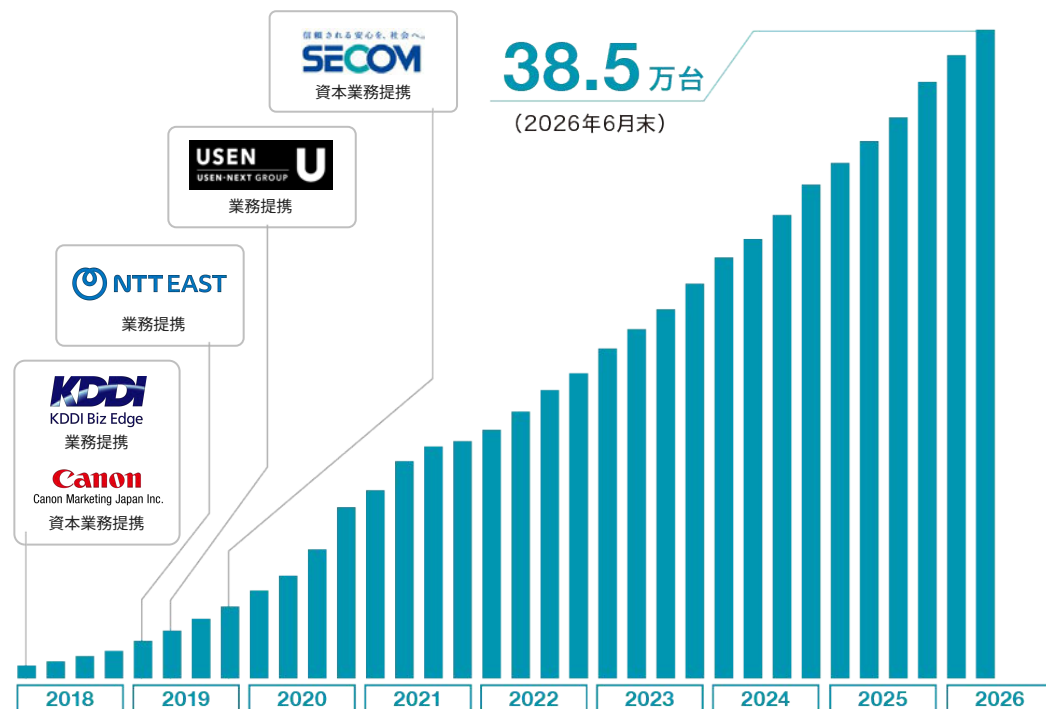
製品・サービスの概要



- 01**  クラウドとオンプレミスのハイブリッドなカメラOS
- 02**  強固なセキュリティ
- 03**  誰もが使える高品質なUI・UX
- 04**  拡張性の高いプラットフォーム

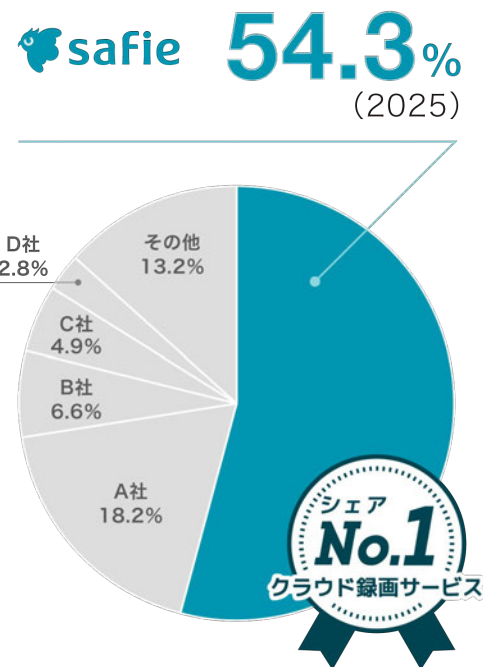
課金カメラ台数及び主な提携実績

課金カメラ台数



マーケットシェア

クラウドモニタリング・録画サービスシェア^{*1}



^{*1} テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査（2025）」より、エンジン別カメラ登録台数ベースのシェア（54.3%）

小売 / サービス



飲食



建設



インフラ / 公共



製造・プラント



物流



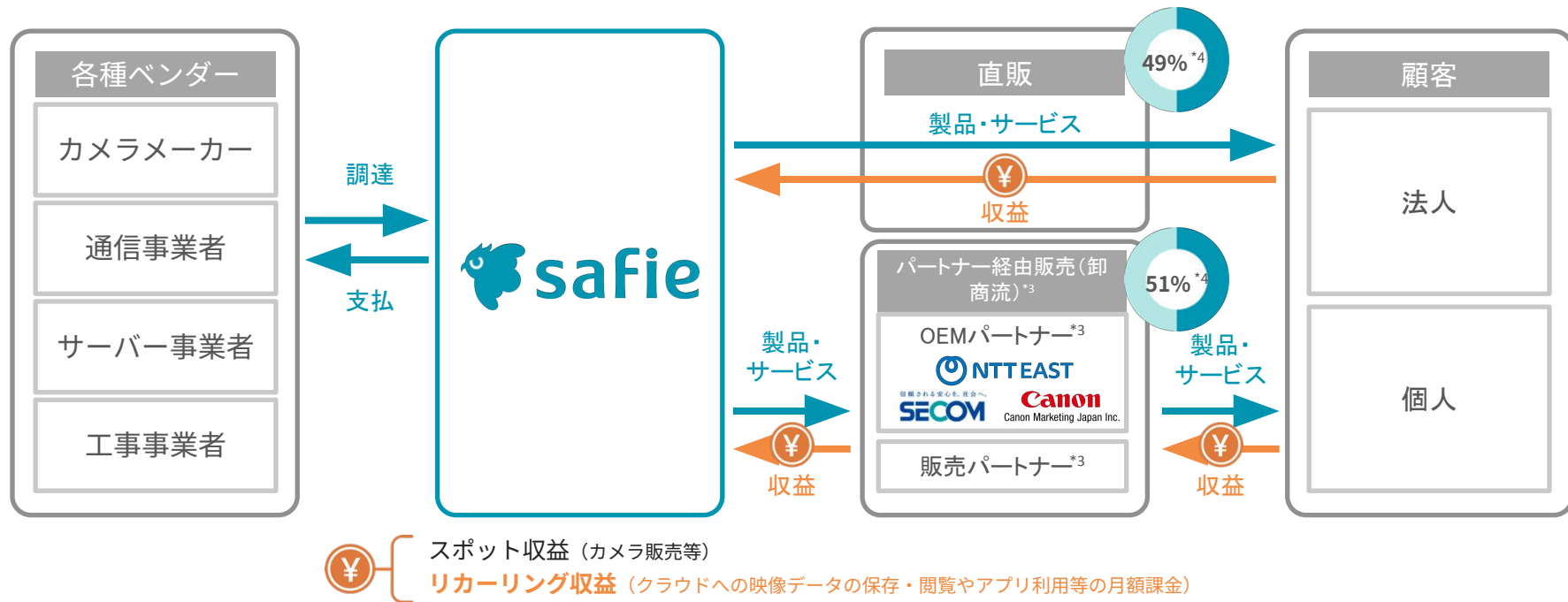
オフィスビル



警備



当社は、カメラ^{*1}を直接またはパートナー経由で販売するとともに、クラウド録画^{*2}とAIサービスを提供



^{*1} 当社はカメラの製造は行なっており、（自社ブランドカメラも含め）メーカーからカメラを調達

^{*2} 当社は自社でインフラ等全てのクラウド環境を構築しているわけではなく、大手クラウドベンダーのサービスを利用しつつ、映像データの保存・閲覧サービスを提供

^{*3} 「OEMパートナー」とは、当社からクラウドサービスとカメラ（もしくは前者のみ）を仕入れ、利用者にパートナーのブランド名称で再販するパートナーを指す。

「その他販売パートナー」とは、当社からクラウドサービスとカメラ（もしくは前者のみ）を仕入れ、利用者にSafieブランドのまま再販するパートナーを指す。一部のパートナーでは弊社からのカメラ販売は発生しない

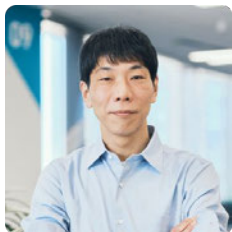
^{*4} セーフィー株式会社（単体）ベースの数値



佐渡島 隆平

代表取締役社長CEO

1999年 12月 Daigakunote.com創業 (CEO)
2002年 4月 ソネット株式会社 (現 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社) 入社
2010年 10月 モーションポートレート株式会社入社 (CMO)
2014年 10月 当社創業
2020年 12月 Forbes日本の起業家ランキング2021 第1位



森本 数馬

取締役 開発本部本部長 兼 CTO

2001年 3月 東京大学工学部応用物理 物理工学科卒業
2001年 4月 ソニー株式会社入社
2012年 8月 グリー株式会社
(現 グリーホールディングス株式会社) 入社
2013年 11月 モーションポートレート株式会社入社
2014年 10月 当社創業



古田 哲晴

取締役 COO

2006年 4月 McKinsey&Company Inc.入社
2010年 11月 株式会社産業革新機構入社
2017年 3月 当社入社 経営管理本部長 兼 CFO
2019年 10月 当社取締役 (現任)
2026年 1月 当社COO (現任)



岩田 彰一郎

社外取締役

1973年 3月 ライオン油脂株式会社 (現 ライオン株式会社) 入社
1986年 3月 プラス株式会社入社
1992年 5月 同社 営業本部アスクル事業推進室室長
1997年 3月 アスクル株式会社 代表取締役社長
2000年 5月 同社 代表取締役社長兼CEO
2006年 6月 株式会社資生堂 社外取締役
2008年 4月 公益社団法人経済同友会 副代表幹事
2012年 4月 同会 幹事
2019年 9月 株式会社フォース・マーケティングアンドマネージメント
代表取締役社長 (現任)
2020年 8月 当社社外取締役 (現任)
2021年 6月 エステー株式会社 社外取締役 (現任)
2021年 9月 Arithmer株式会社 社外取締役 (現任)
2022年 5月 株式会社Hacobu 社外取締役 (現任)
2025年 6月 ロート製薬株式会社 社外取締役 (現任)



光田 光弘

執行役員 IT統括本部部長 兼 CIO

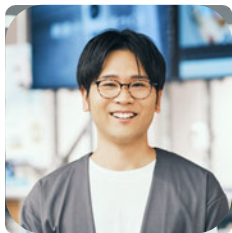
2001年 3月 筑波大学第二学群人間学類卒業
2001年 4月 ニチメンコンピューターシステムズ株式会社
(現 双日テックイノベーション株式会社) 入社
2005年 12月 株式会社野村総合研究所入社
2009年 9月 株式会社アイ・シー・アイ入社
2016年 10月 ICONIC Co., Ltd.入社
2021年 9月 当社入社
2026年 1月 当社執行役員 (現任)



植松 裕美

執行役員 企画本部副本部長

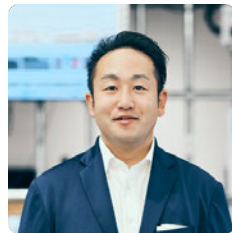
1999年 3月 北海道大学大学院量子物理学専攻修了
1999年 4月 株式会社日立メディコ (現 富士フイルムヘルスケアマニュファクチャリング株式会社) 入社
2006年11月 ソニー株式会社入社
2015年 1月 株式会社スポットライト (現 楽天ペイメント株式会社) 入社
2017年 9月 アマゾンジャパン合同会社入社
2020年 2月 当社入社
2021年 4月 当社企画本部企画部部長
2021年12月 当社執行役員 (現任)



石川 貴夫

執行役員 企画本部部長

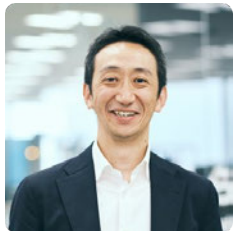
2007年 4月 クラリオン株式会社 (現 フォルシアクラリオン・エレクトロニクス株式会社) 入社
2019年 3月 株式会社ディー・エヌ・エー入社
2020年 4月 株式会社Mobility Technologies (現GO株式会社) 転籍
2021年 10月 当社入社
2026年 7月 当社執行役員 (現任)



桜田 忠弥

執行役員 営業本部部長 兼 CRO

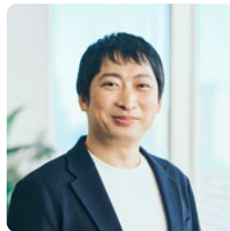
2009年 3月 早稲田大学国際教養学部卒業
2009年 4月 光通信株式会社入社
2010年 10月 楽天株式会社 (現 楽天グループ株式会社) 入社
2013年 7月 寿スピリッツ株式会社入社
2020年 3月 当社入社
2025年 1月 当社執行役員 (現任)



西村 宣昭

執行役員
セーフィーセキュリティ株式会社 代表取締役社長

2001年 4月	オリックス株式会社入社
2018年 5月	ORIX Corporation USA出向
2022年 5月	当社入社
2023年 1月	当社執行役員 営業本部本部長
2024年 1月	当社執行役員 営業本部副本部長 兼 VPoS
2025年 1月	当社執行役員 / セーフィーセキュリティ株式会社 代表取締役社長（現任）



齋藤 隼

執行役員 経営管理本部本部長 兼 CAO

2009年 9月	早稲田大学 政治経済学部 政治学科卒業
2010年 4月	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 （現 NTTドコモビジネス株式会社）入社
2015年 5月	アクセンチュア株式会社入社
2018年 11月	株式会社メルカリ入社
2021年 4月	当社入社
2026年 1月	当社執行役員（現任）



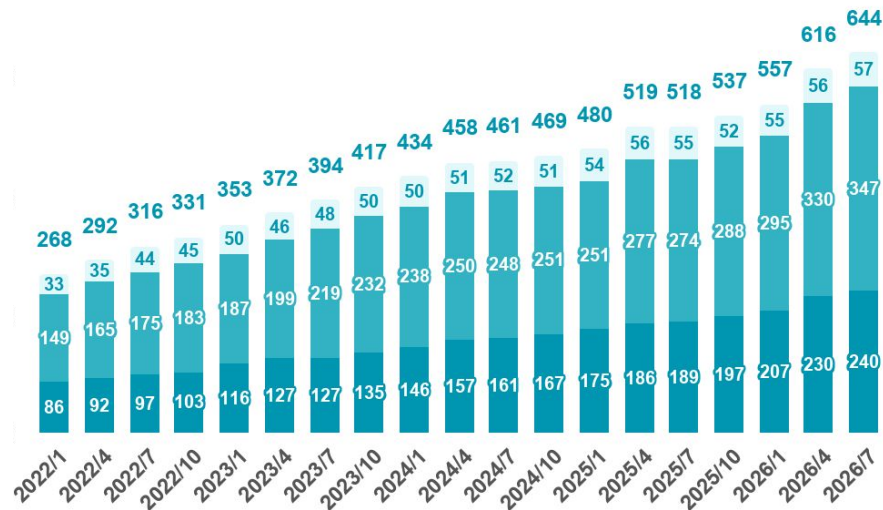
中村 晋也

執行役員 CCO
セーフィーフィールドワークス株式会社代表取締役社長

2001年10月	株式会社アイティ・イット （現 エクシオ・システムマネジメント株式会社）入社
2007年 3月	ソネット株式会社（現 ソニーネットワークコミュニケーションズ 株式会社）入社
2020年 4月	当社入社
2021年12月	当社執行役員 カスタマーサービス本部本部長 兼 CCO
2025年11月	当社執行役員 / セーフィーフィールドワークス株式会社 代表取締役社長（現任）

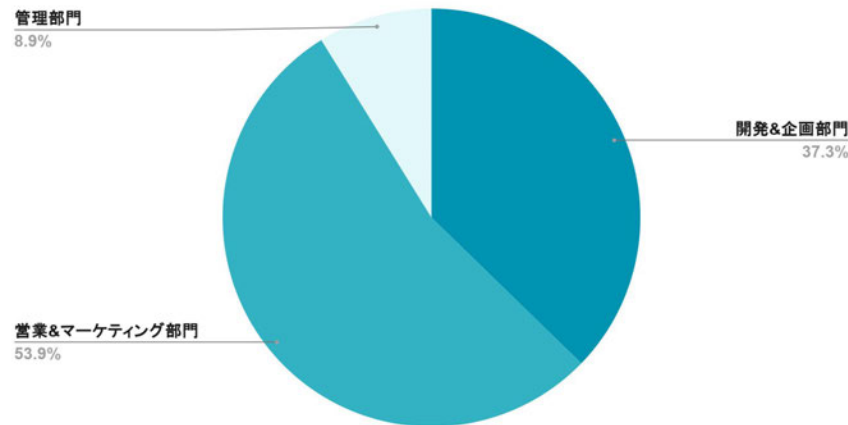
社員数の推移^{*1}

- 開発&企画部門
- 営業&マーケティング部門
- 管理部門

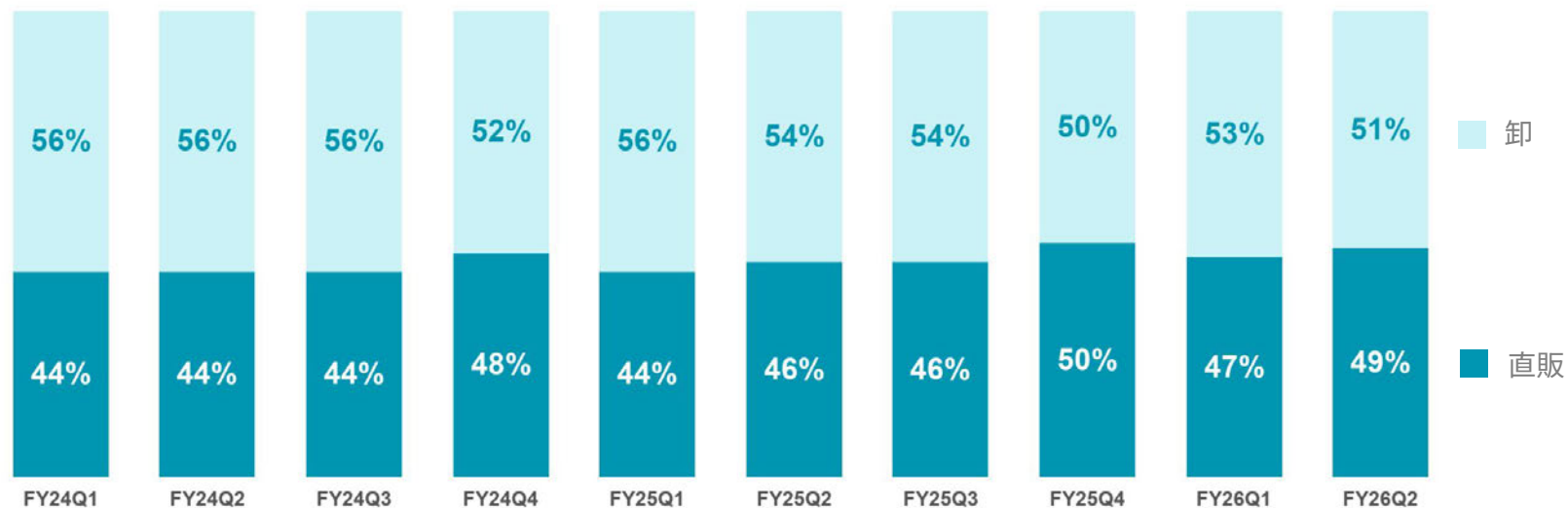


*1 各月初の人数

人員構成

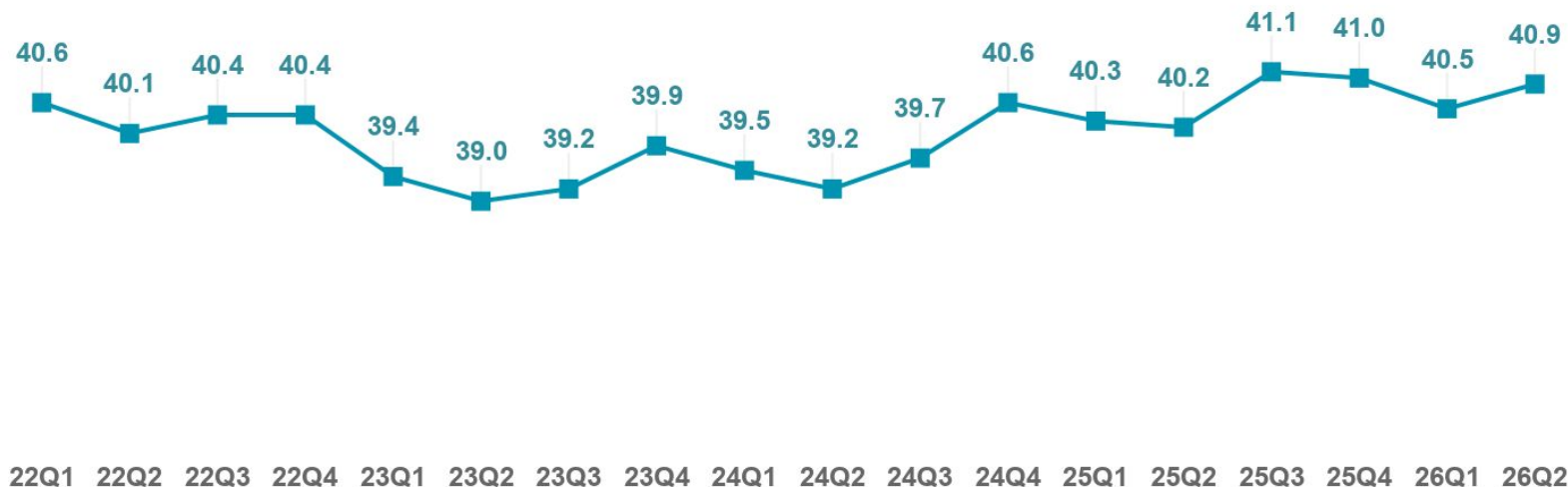


商流別売上高構成比（四半期）



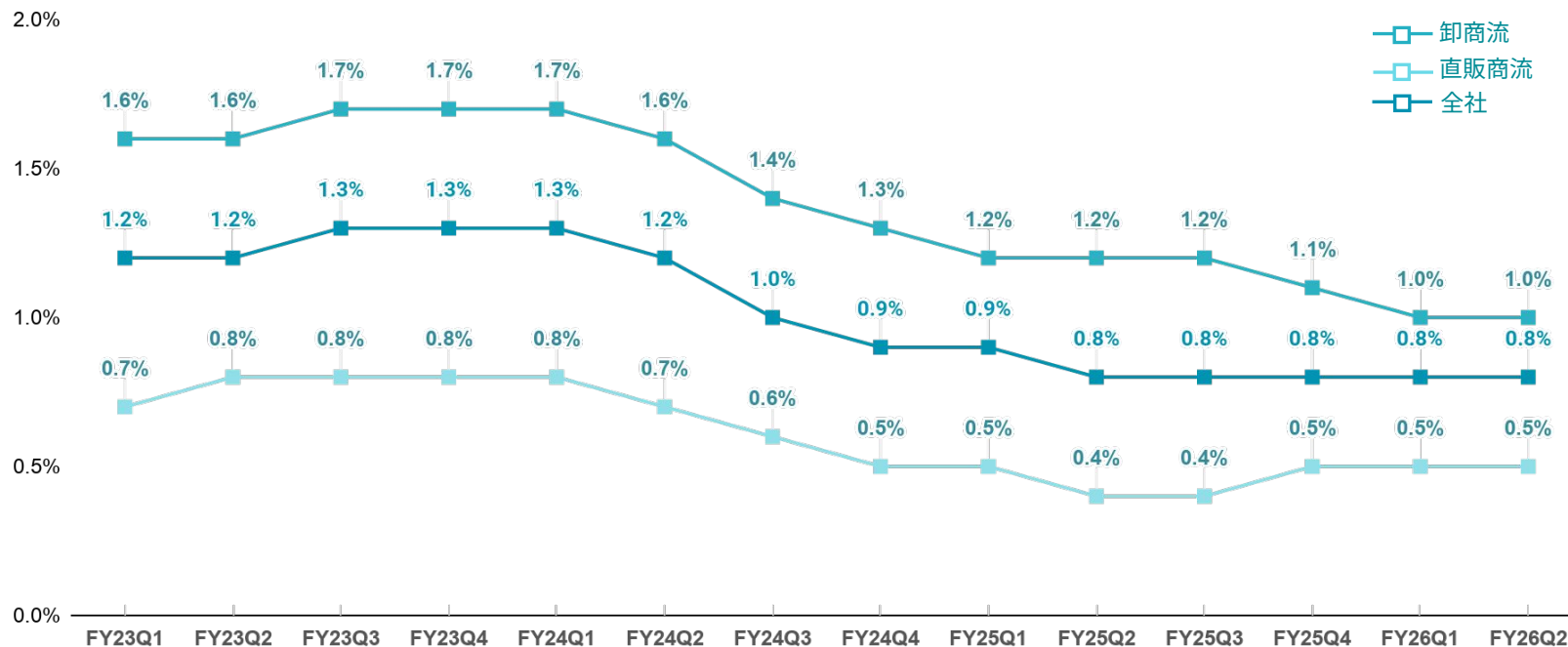
ARPC（課金カメラ1台あたりの単価）（四半期）

四半期推移
(千円)



^{*1} ARPCはAverage Revenue per cameraの略。ARPC=ARR÷課金カメラ台数

Safie PRO 12ヶ月平均課金カメラ解約率（台数ベース）



業界	潜在拠点数	想定設置台数 ^{*1}	潜在カメラ台数
飲食業	140万拠点 ^{*2}	約4台	約562万台
小売業	88万拠点 ^{*3}	約10台	約880万台
サービス業(宿泊業以外)	43万拠点 ^{*4}	約4台	約173万台
サービス業(宿泊業)	5万拠点 ^{*4}	約10台	約51万台
建設業	30万拠点 ^{*5}	約5台	約150万台
住宅業	221万拠点 ^{*6}	約1台	約221万台
製造・物流業	26万拠点 ^{*7}	約10台	約260万台
インフラ/公共業	199万拠点 ^{*8}	約3台	約598万台
金融業	16万拠点 ^{*9}	約3台	約50万台
駐車場	556万拠点 ^{*10}	約1台	約556万台
病院・介護施設・教育施設	27万拠点 ^{*11}	約10台	約277万台
事務所	26万拠点 ^{*12}	約3台	約78万台
マンション	12万拠点 ^{*13}	約4台	約49万台
エレベーター	77万拠点 ^{*14}	約1台	約77万台
ビル(オフィス)	1万拠点 ^{*15}	約50台	約52万台
合計	1,467万拠点	-	約4,034万台

^{*1} 1拠点あたり想定設置台数 過去の事業経験等を踏まえた当社の試算値、^{*2} 厚生労働省「令和5年度衛生行政報告例」に記載の飲食店営業施設数(2024)、^{*3} 経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査結果(卸売業、小売業)」に記載の小売業の事業所数(2021)、^{*4} 「アミューズメント産業界の実態調査 2021年度」に記載のアミューズメント施設店舗数(2023)、警察庁「令和5年における風俗営業等の現状と風俗関係事犯等の取扱い状況について」に記載のパチンコ/パチスロ店舗数(2024)、文部科学省「令和3年度社会教育統計の公表について」に記載の図書館数、博物館数(2023)の合計、厚生労働省「令和5年度衛生行政報告例の概況」に記載の公衆浴場数(2024)及び理容室・美容室数(2024)、ホテル数(2024)及び旅館数(2024)、^{*5} 国土交通省「建設工事受注動向統計調査報告(令和5年計分)」に記載の公共機関からの受注工事件数(2024)、^{*6} 国土交通省「建築工事統計調査報告 時系列一覧」に記載の新設住宅着工数(2025)、「建築物リフォーム・リニューアル調査報告(概要)」に記載の工事受注件数(2022) ^{*7} 経済産業省「2023年経済構造調査」に記載の工場・作業場(2024)及び物流センター-推定数(2024)及び大型物流センター-推定数(2024)の合計、^{*8} 資源エネルギー庁公表の自然エネルギー発電設備総数(2019)、「緯度経度付き全国沿線・駅データベース」に記載の鉄道等の駅数(2025)、水道技術研究センター「水道ホットニュース」に記載の水道・浄水場数(2021)、国土交通省公表の下水道処理場数(2024)及び河川管理施設数(2024)の合計、^{*9} 「2023年販売統計年報」に記載の金融(銀行店舗数 2022-2023)、全国信用組合主要動向及び系統信用事業の現状と農林中央金庫の役割 他に記載の金融(ATM数 2023)の合計、^{*10} 国土交通省「自動車駐車場年報 令和5年度版(2023年)」に記載の駐車場総共用台数(2023)、^{*11} 厚生労働省「令和5年度医療施設(動態)調査-病院報告」に記載の医療施設数(2023)と、厚生労働省「令和5年度社会福祉施設等調査」に記載の有料老人ホーム数(2023)、文部科学省「令和6年度学校基本調査(確定値)」に記載の学校数(2024)及び幼稚園数(2024)、こども家庭庁「保育所等関連状況取りまとめ(令和5年4月1日)」の保育所(2023)及び他保育施設数(2023)の合計、^{*12} 国土交通省「2023年法人土地・建物基本調査」に記載の主な利用状況が事務所の建物件数(2024)、^{*13} 一般社団法人マンション管理受託動向調査結果概要」に記載のマンション棟数(2024)、^{*14} 一般社団法人日本エレベーター協会「2022年度昇降機設置台数等調査結果報告」に記載のエレベーター保守台数(2023)、^{*15} 一般財団法人日本不動産研究所「【公表資料】全国オフィスビル調査(2023年1月現在)」に記載のオフィスビル件数(2023年)

(単位 千円)	2025年12月末	2026年6月末		2025年12月末	2026年6月末
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	6,820,149	5,324,831	買掛金	1,042,189	1,284,462
売掛金	2,726,538	2,633,774	1年内返済予定の長期借入金	892	-
電子記録債権	18,743	6,995	未払法人税等	322,751	173,605
商品	874,412	1,906,590	賞与引当金	210,715	76,655
その他	499,822	845,762	その他	1,236,677	918,704
貸倒引当金	△7,845	△5,136	流動負債合計	2,813,226	2,453,427
流動資産合計	10,931,821	10,712,818	固定負債		
固定資産			その他	42,835	37,074
有形固定資産	15,457	56,898	固定負債合計	42,835	37,074
投資その他の資産	1,131,821	1,060,747	負債合計	2,856,061	2,490,501
固定資産合計	1,147,278	1,117,646	(純資産の部)		
繰延資産	1,482	1,275	株主資本		
資産合計	12,080,583	11,831,740	資本金	5,651,180	5,679,428
			資本剰余金	8,146,608	8,177,314
			利益剰余金	△4,756,668	△4,690,660
			自己株式	△313	△313
			株主資本合計	9,040,806	9,165,768
			その他の包括利益累計額		
			その他有価証券評価差額金	21,577	8,730
			繰延ヘッジ損益	5,572	17,641
			為替換算調整勘定	△2,480	△7,697
			その他の包括利益累計額合計	24,669	18,674
			新株予約権	32,797	49,209
			非支配株主持分	126,248	107,586
			純資産合計	9,224,521	9,341,238
			負債純資産合計	12,080,583	11,831,740

調整後営業利益（調整表）

(百万円)	2022				2023				2024				2025				2026	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
営業利益	△218	△384	△281	△398	△182	△256	△399	△252	△99	△203	△64	△214	△20	△50	△23	13	105	△1
+) 株式報酬費用	0	5	6	6	6	8	10	8	8	11	13	12	15	17	19	13	21	19
+) M&Aにより生じた 無形資産の償却費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+) NEDO関連調整額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	109	133	111	76	0
調整後営業利益	△218	△379	△275	△391	△176	△247	△389	△244	△90	△191	△50	△201	59	75	128	139	203	18

- 本資料は、当社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社グループの発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料には、当社グループの将来の見通し・計画・目標などに関する記述が含まれています。こうした記述は「予想」「予測」「期待」「意図」「計画」「可能性」などの言葉で表されることがありますが、これらの言葉に限られません。将来に関する記述は、本資料作成時点で当社グループが入手している情報と判断に基づき、一定の前提のもとに記載しています。実際の結果は、様々なリスクや不確実な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。したがって、将来に関する記述のみに全面的に依拠することのないよう、ご注意ください。
- なお、本資料における記述は本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社グループは、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。
- また、本資料には当社グループ以外の企業等に関する情報も記載しています。これらの情報は、公開情報や第三者が作成したデータ等を引用したものです。当社グループはその正確性・適切性について検証しておらず、内容を保証するものではありません。

セーフィー IRの最新情報をお届けしています



note



IR monthly Report

https://note.com/safie_ir/



LINEの友だち登録

<https://lin.ee/IUsP4l7>

IRに関するお問い合わせ：ir@safie.jp

IRサイト：<https://safie.co.jp/ir/>

サステナビリティご紹介ページ：<https://safie.co.jp/csr/>